

2021年10月20日

三菱UFJ信託銀行株式会社

「責任投資報告書 2021」の発行について

三菱UFJ信託銀行株式会社（取締役社長 ^{ながしま いわお}長島 巖、以下「三菱UFJ信託銀行」）は、この度、受託財産運用における責任投資への取り組みを紹介する「責任投資報告書 2021（以下、本レポート）」を発行しましたので、お知らせいたします。

本レポートは、三部構成となっており、第一部では責任投資のこれまでの取り組みや考え方などを記載しています。第二部では三菱UFJ信託銀行が定めている「重大なESG課題」の特定プロセス、各課題に対する考え方やエンゲージメントの事例などを紹介しています。第三部では、スチュワードシップ活動の中心となる議決権行使やエンゲージメントの実施状況と、責任投資の普及に向けた各種取り組みを報告しています。詳細につきましては、以下URLをご覧ください。

https://www.tr.mufg.jp/houjin/jutaku/pdf/full_report.pdf

三菱UFJ信託銀行は、責任ある機関投資家として「日本版スチュワードシップ・コード」の趣旨に賛同し、日本版スチュワードシップ・コードの各原則への対応方針を定めています。議決権行使方針および行使結果は以下URLをご覧ください。

https://www.tr.mufg.jp/houjin/jutaku/about_stewardship.html

お客さまからお預かりした資産を運用する信託銀行として、社会課題を解決し、持続可能な社会の実現に貢献していくためには、責任投資が重要であると考えています。

三菱UFJ信託銀行は、全ての運用資産で独自に特定した「重大なESG課題（気候変動、健康と安全、人権・ダイバーシティ、ガバナンス体制、情報開示）」の解決を目指し、日本における責任投資のパイオニアとして幅広いステークホルダーとともに、「安心・豊かな社会」の実現を目指してまいります。

（照会先）三菱UFJ信託銀行 アセットマネジメント事業部 責任投資推進室 野崎 弘明 050-3689-6425

以 上